

金城大学同窓会

《会報誌 第13号》 2019年12月発行号



《同窓会活動報告》

令和元年度役員会 開催報告

《令和元年度 交流パーティー 開催報告》

《各方面で活躍する同窓生》

《大学行事報告》

卒業証書・学位記授与式、入学式、新入生歓迎会、
新入生研修、クラブ・同好会登録及び援助金説明会、
令和元年度卒業研究発表会、第44回金城祭

《トピックス》

公開講座、ゆうがく広場／悠遊健康サークル、
北國健康生きがい支援事業、
第14回保健・医療・福祉創造フォーラム

《同窓会 開催報告》

《研究・教育活動報告》

研究活動成果報告会開催報告、
科学研究費助成事業採択状況

同窓会活動報告

令和元年度役員会 開催報告

《第1回役員会》

令和元年5月25日(土) 14時00分～15時10分

【議題】

前回役員会平成31年3月23日(土)「議事録確認

1. 令和元年度役員会の改選

河合副会長から、令和元年度の役員改選について、会則第5条に基づき、平成31年3月31日で任期満了となっている河合副会長及び偶数年卒業期生の委員に引き続き委嘱することの説明があった。また、新委員として16期生及び新幹事として1名を会長より委嘱することの説明があり、全会一致で承認された。

2. 平成30年度事業報告・決算報告

町野幹事から、平成30年度 事業報告・決算報告について、上田会計監事及び山谷会計監事による監査の結果、会計処理が適正であったことの説明があり、全会一致で承認された。

3. 令和元年度事業計画・予算

町野幹事から、令和元年度 事業計画・予算について説明があり、令和元年度事業計画を基に予算が組まれ、前年度と同水準で予算を計画したが、看護学部が昨年度に完成年度を迎えたため、看護学部の分を追加した内容となっていることの報告があり、全会一致で承認された。

4. 交流パーティー

令和元年度の交流パーティーについて、開催内容及び案内チラシに関して下記のとおり説明があった。

- 交流パーティーの開催日時等
 - ▼ 10月19日(土)
 - ▼ 18時から総会、18時30分から交流パーティー
 - ▼ 会場は、ANAホリデイ・イン金沢スカイ
- 案内チラシの発送
 - ▼ 交流パーティー案内チラシは6月中旬に発送
 - ▼ 次回の交流パーティーの案内は帰省等を考慮してお盆前に発送予定

5. その他

● 今年度の実行委員は、担当は12期生、副担当は13期生
 以上のことを踏まえ、全会一致で承認された。

小島幹事から、在学生への助成金の検討について説明があった。大学後援会が例年計上している「就職及び国家試験対策への補助」と同様に、同窓会からも同様の補助の検討を依頼したい。審議の結果、継続審議とすることが了承された。

河合副会長から、2020年は医療健康学部卒業から10年目となるため、記念事業等を検討しており、同窓会としても協力を依頼したい。

《金城大学同窓会事業計画》

- 第1回大学同窓会役員会 5月25日(土)
 - 令和元年度大学同窓会役員総会 10月19日(土)
 - 令和元年度金城大学交流パーティー ANAホリデイ・イン金沢スカイ 10月19日(土)
 - 金城祭 10月19日(土)～20日(日)
 - 第2回大学同窓会役員会 12月初旬
 - 会報誌発行 12月下旬
 - ゼミ代表者説明会及び役員選出 2月初旬
 - 第3回大学同窓会役員会 3月中旬
- #### 交流パーティー計画
- 交流パーティー案内発送 6月初旬
 - 交流パーティー実行委員会 6月～9月
 - 交流パーティー案内発送 8月下旬
 - 交流パーティー 10月19日(土)
- #### その他
- 金城大学学生支援協賛
 - 同窓会活動助成

予算・決算 (平成30年度決算・令和元年度予算)

一般会計 (単位:円)		
収入の部	平成30年度決算	令和元年度予算
会費	6,820,000	6,380,000
利息	45	—
雑収入	64,000	100,300
前年度繰越金	2,495,293	2,603,677
合計	9,379,338	9,083,977

特別会計 (単位:円)		
収入の部	平成30年度決算	令和元年度予算
特別会計繰入金	2,000,000	2,000,000
利息	2,857	3,000
前年度繰越金	23,935,807	25,938,664
合計	25,938,664	27,941,664
支出の部	平成30年度決算	令和元年度予算
予備費	—	27,941,664
合計	0	27,941,664

一般会計 (単位:円)		
支出の部	平成30年度決算	令和元年度予算
会議費	31,401	70,000
交通費	95,320	150,000
交流パーティー運営費	839,621	1,500,000
金城祭補助費	206,800	300,000
会報誌制作費	551,160	700,000
ホームページ制作費	129,600	150,000
名簿管理費	367,001	200,000
通信費	1,828,688	2,200,000
雑費	84,070	400,000
会費戻金	40,000	—
同期会開催助成金	102,000	500,000
事務費負担金	500,000	500,000
特別会計繰出金	2,000,000	2,000,000
学生活動支援助成金	—	—
予備費	0	413,977
合計	6,775,661	9,083,977

※【一般会計】(収入の部)合計9,379,338円-(支出の部)合計6,775,661円=2,603,677円を次年度繰越金とする

※【特別会計】(収入の部)合計25,938,664円-(支出の部)合計0円=25,938,664円を次年度繰越金とする。

令和元年度 交流パーティー 開催報告

10月19日(土)に、ANAホリデー・イン金沢スカイにて、「金城大学同窓会 交流パーティー」が開催され、卒業生35人、教職員24人の出席がありました。

はじめに、中野雄介副会長(1期生)より日頃の大学同窓会運営へのご理解と協力に対し、謝辞がありました。また、加納宏志副学長からご挨拶いただきました。中野副会長議長進行のもと、役員会総会にて審議、承認された事項について中野副会長から報告が行われました。なお、昨年度に完成年度を迎えた看護学部から、柳島優奈さんが副会長に選出されたことの報告がありました。



議事を進行する中野雄介副会長



ゲーム企画「ドーナツ早食い競争」の様子



食事や歓談をしながら交流を深める

引き続き、行われた交流パーティーでは、学校法人金城学園 加藤真二理事長からご挨拶並びに乾杯のご発声をいただき、和やかな雰囲気が始まりました。旧友や恩師たちとの再会に、近況報告や思い出話に花が咲く中、実行委員を中心に楽しい企画が行われました。ゲームの結果発表の際には景品の当選発表もあり、大きな歓声などが上がり、一緒に参加していた同窓生の子どもたちも笑顔あふれる素晴らしい企画となりました。最後に、記念として集合写真を撮影し、盛会のうちに終了しました。

令和元年度役員

会 長	濱田 陽介 (1期生)	副 会 長	中野 雄介 (1期生)	河合 直人 (8期生)	柳島 優奈 (16期生)	
会 計 監 事	上田 良和 (1期生)	山 谷 聡 美 (4期生)				
委 員	内島 一憲 (1期生)	今村 裕子 (1期生)	紺 昇平 (1期生)	園谷 準 (1期生)	赤津 慎太郎(2期生)	久田 緑 (2期生)
	寺井 紀裕 (2期生)	川口 雄幸 (3期生)	川嶋 玲子 (3期生)	田中 宏治 (3期生)	七野 澄麗 (3期生)	山下 和恵 (3期生)
	安土 貴子 (4期生)	今田 志未 (4期生)	林 裕也 (4期生)	赤木 由未子(4期生)	庄田 紋子 (4期生)	清水 敦子 (4期生)
	岩城 涼子 (5期生)	山崎 舞 (5期生)	越村 知恵 (5期生)	高橋 里枝 (5期生)	松下 早希 (5期生)	池上 実希 (5期生)
	辰田 沙弥香(5期生)	花井 友美 (6期生)	稲葉 文香 (6期生)	大久保 朋美(6期生)	早崎 久穂 (6期生)	高橋 孝明 (6期生)
	西村 仁美 (6期生)	坂本 千夏子(6期生)	西野 友希 (7期生)	土田 行美 (7期生)	成川 千絵 (7期生)	西川 美香 (7期生)
	鷹合 いつか(7期生)	澤田 竜之介(8期生)	西谷 彰紘 (8期生)	青木 由依 (8期生)	竹田 圭佑 (8期生)	鷺田 恵 (8期生)
	岩田 めぐみ(9期生)	北村 允人 (9期生)	劔村 祐依 (9期生)	藤川 彩 (9期生)	中佐 武尊 (9期生)	濱 星美 (9期生)
	藤川 諒也 (9期生)	田中 貴大 (10期生)	前田 静香 (10期生)	廣岡 恵莉香(10期生)	岩上 倫太郎(10期生)	橋本 千晶 (10期生)
	池田 光次郎(11期生)	櫛引 敏裕 (11期生)	谷内 奈津美(11期生)	三平 拓矢 (11期生)	村澤 卓朗 (11期生)	新田 祐希 (12期生)
	山本 有佳里(12期生)	柏木 久夏 (12期生)	墨谷 沙紀 (12期生)	和田 卓也 (12期生)	東木 悠樹 (13期生)	山下 大貴 (13期生)
	青山 祥子 (13期生)	岡田 智成 (13期生)	中村 瑠 (13期生)	角出 遥 (14期生)	太田 圭一郎(14期生)	坂本 恭一 (14期生)
	前田 祐希 (14期生)	吉田 友稀乃(14期生)	嶋 穂乃花 (15期生)	畑谷 淳平 (15期生)	福田 優香 (15期生)	成 進二郎 (15期生)
	堀田 菜月 (15期生)	堂前 達也 (16期生)				

幹 事 岡村 綾子、斎藤 修啓、小島 聖、犬丸 敏康、越納 美和、佐々井 誠、町野 圭亮、宮本 麻衣子、田中 千恵

各方面で活躍する同窓生

**できるようになった瞬間の喜びを糧に
広い視野で経験を積み重ねていく**

大学時代の思い出は、キンボール部で大会に出場したことと卒業論文の作成を頑張ったことです。介護施設における介護職員の研修の必要性についてというテーマで、ゼミの先生のご指導を仰ぎながらアンケート調査に飛び回った日々が懐かしく思い出されます。

私が金城大学に進学しようと思ったのは、社会福祉士と介護福祉士のダブルライセンスが取得できるから。中学生の頃、高齢者施設でデイサービスの職業体験をしたり、祖父の介護を手伝ったりして、当時から介護の仕事に興味を持っていました。現在勤めている「工房シテイ」に就職したのは、3年次のソーシャルワーク実習で明るく楽しい職場の雰囲気がいちいち感じたからです。

工房シテイは障がい者の通所施設で、レクリエーションや入浴サービス、身体介助などだけではなく、タオルのパッケージングといった下請け作業を行って、一定のお給料を支給している点の特徴となっています。利用者と根気よく関わりながら、ずっとできなかったことがある日できるようになる瞬間に立ち会えた時には、大きなやりがいを噛み締めています。とはいえ、利用者への寄り添いや、それぞれの思いの折り合いのつけ方に悩むことも多く、まだまだ未熟だと感じています。これからも大学で学んだ広い視野を大切に、現場での経験を積み重ねていきたいと考えています。



西野 恵美さん

【社会福祉法人 あおぞら福祉会 工房シテイ】
社会福祉学部 社会福祉学科 平成27年度卒業 13期生



**子どもの気持ちに寄り添い
ともに成長していきたい**

中学の職場体験で行った幼稚園の先生が、とてもキラキラと輝いて映って「こんな先生になりたい!」と思ったのが、幼児教育を志したきっかけです。「いしかわこども園」は、大学時代にアルバイトとしてお手伝いをしたことがあり、いい先生ばかりで仲のいい雰囲気に憧れました。現在、保育教諭として持ち上がりで年長クラスを担当しています。

当園の特長として、和太鼓演奏やフットサル教室、「ABC教室」などにも力を入れており、先日開催された「第71回 石川県公民館大会」のアトラクションで「子ども太鼓」を披露しました。教え子ながら、あんな大舞台で立派に演奏するなんて感心しきりです。和太鼓を通じて気持ちが一つになるというか、みんなやる気に満ちあふれていて、子どもたちの成長を感じることができました。

子どもたちと遊ぶ時も話す時も、いつも心掛けているのは自分も子どもになることです。そうすることで、子どもたちも心を開いてくれるから。でも、子どもの気持ちに寄り添うって難しいですね。私自身、中学・高校とバレーボール部で体育会系というか、結構熱くなってしまいうタイプなので…。子どもたちに自分の思いが伝わらず、どうしたらいいか悩むことも多々あります。まだまだ、ベテランの先生に助けていただきながらやっているところなので、早く一人でちゃんと全部できるように成長していきたいです。



中川 葉月さん

【社会福祉法人 いしかわ福祉会 幼保連携型認定こども園 いしかわこども園】
社会福祉学部 こども専攻 平成28年度卒業 14期生



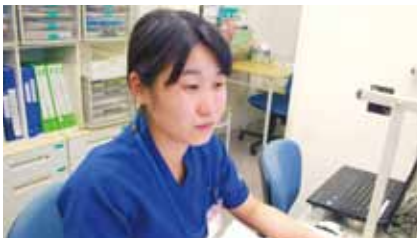
**患者さんの笑顔を増やせるよう
トータルな支援ができる理学療法士に**

私が中学生の頃、骨折した祖父がリハビリテーションを受けたことがあり、病院から持ち帰ったプログラムを見せられてきた時に初めて理学療法士という存在を知りました。「これができるようになった!」と楽しそうにしている祖父の様子から、自分もそんな仕事に携わりたいと思うようになりました。

大学時代を振り返ると、3年次の臨床実習で初めて実際の患者さんを目の前にして、すごく緊張したのを思い出します。一番思い出深いのは、4年次の夏頃から本格的に取り組んだ国家試験の勉強ですね。友達同士で問題を出し合ったり、教え合ったりしながら楽しく学べたと思います。

無事、国家試験に合格し、現在は理学療法士として地元の小松ソフィア病院に勤めています。入院患者さんの身体の状態を評価し、退院までにどうしていくかを患者さんと相談して、先輩にもアドバイスをもらいながら個々のプログラムを作成しています。初対面の時はずいぶん緊張した患者さんが、リハビリテーションを進めていくうちに笑顔が増え、「あなたの顔を見ると元気が出る」と言われたりすると、こちらも大きな励みになります。

将来的には、訪問リハビリテーションにも興味がある中で、患者さんの退院後の生活環境にも目を配りながら、トータルな支援ができる理学療法士になりたいです。



中出 成美さん

【医療法人社団 愛康会 小松ソフィア病院】
医療健康学部 理学療法学科 平成30年度卒業 16期生



日常生活に必要な機能回復を 支援できるプロフェッショナルに

私は、不安を和らげたり落ち着かせたりといった精神面のケアをする作業療法に興味があり、金城大学の作業療法学科を選びました。作業療法士に必須の国家試験に向けて、同級生たちとともに勉強に励んだ日々が思い出深いです。人生で一番勉強しましたから、合格する自信はありました。現在は、芳珠記念病院で地域包括ケア病棟の患者さんにリハビリテーションを行っています。病院内のキッチンやお風呂を使って料理や入浴の練習、掃除、洗濯など、生活に即したりリハビリテーションが多いですね。

これまでに担当したケースのなかで、脳出血で入院していた70代女性の患者さんが印象に残っています。3カ月にわたりリハビリテーションを行ったのですが、当初は歩行もおぼつかない状態だったのが、ご本人のやる気と努力で買い物や料理といった家事ができるまで回復されました。ご本人はもちろんです、旦那さんとても喜んでいらっしゃいました。

リハビリテーションをするにあたって、患者さんの日常生活の中で何が必要なのか、何をどのように練習していくのか、効果的なプログラムを作成するのはとても難しいです。作業療法士として実際に働いてみて、国家試験の勉強より大変だと痛感しています。今後も知識と経験をどんどん吸収しながら、退院後の患者さんの生活を支えられるような作業療法士のプロを目指します。



竹中 朋也さん

【医療法人社団 和楽仁 芳珠記念病院】
医療健康学部 作業療法学科 平成30年度卒業 16期生



幼い頃からの夢だった看護師の道を 一歩二歩、着実に進む

看護学部の1期生だった私たちには先輩がおらず、同級生たちと「頑張ろうね」と支え合いながら、手探り状態で実習や国家試験を乗り越えて来た感じがあります。私が看護師になるうと思っただのは、小学校1年生の時に祖母が入院して看護師さんで大変お世話になったことから、「看護師はすごい仕事だよ」と私に話してくれたことがきっかけでした。先生方の熱心な指導のおかげで国家試験にも合格し、幼い頃からの夢を実現することができました。

現在は、松任キャンパスの隣にあつて実習でもお世話になった、公立松任石川中央病院に勤務しています。実習で指導していただいた看護師さんの親切さや患者さんへの関わり方に憧れて、こちらで働きたいと思ったのです。私が所属する3階西病棟には、婦人科と乳腺外科、それに小児科の患者さんも入院されていますが、基本的には女性病棟で疾患はさまざまです。

常に意識しているのは、笑顔で穏やかにゆっくり話すこと。普通にしゃべるとどうしても早口になってしまう性分なので、患者さんへの関わり方や話し方は先輩方を見習って伝わりやすく、わかりやすく心を掛けています。患者さんから「あなたが来てくれて良かった!」と言われた時は、こちらも嬉しい気持ちになりますね。これからも、長年の夢だった看護師の仕事を手掛けることなく続けていきたいです。



坂口 優花さん

【公立松任石川中央病院】
看護学部 看護学科 平成30年度卒業 16期生



令和元年度 金城大学 学部・学科構成図 一覧



2019年3月 卒業生の進路結果

(令和元年5月1日現在)

社会福祉学部

社会福祉学科

介護職	21人
支援員	14人
相談員	6人
医療ソーシャルワーカー	2人
製造技術職	10人
営業職	10人
販売職	3人
事務職	15人
教員	1人
警察官	2人
接客	1人
インストラクター	2人
計	87人

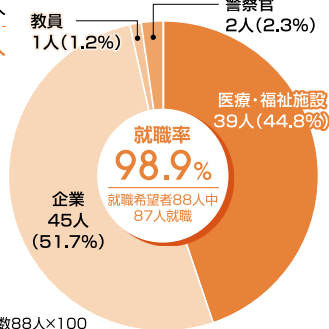
医療・福祉	13人
製造業	7人
建設業	1人
不動産業	1人
電気業	1人
金融業	1人
卸売・小売業	7人
情報通信業	2人
宿泊飲食業	2人
複合サービス業	3人
サービス業	7人
計	45人

教員	1人
警察官	2人
計	3人

大学院	1人
計	1人

高齢者関連施設	18人
障害者(児)施設	12人
社会福祉協議会	3人
病院	2人
救護施設	1人
児童擁護施設	1人
学童保育施設	1人
その他	1人
計	39人

警察官	2人(2.3%)
教員	1人(1.2%)
医療・福祉施設	39人(44.8%)
企業	45人(51.7%)



就職率	98.9%
就職希望者	88人
就職者	87人
進学者	1人

就職率98.9% = 就職者数87人 ÷ 就職希望者数88人 × 100

社会福祉学部

子ども福祉学科

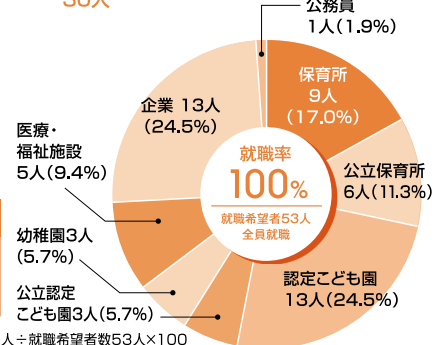
保育士	21人
幼稚園教諭	3人
保育教諭	16人
相談員	1人
支援員	3人
営業職	3人
販売職	2人
事務職	1人
その他	3人
計	53人

保育	5人
教育・学習支援事業	1人
製造業	1人
卸売・小売業	1人
情報通信業	1人
宿泊飲食業	2人
サービス業	2人
計	13人

公立保育所	6人
公立認定こども園	3人
公務員	1人
計	10人

保育所	9人
幼稚園	3人
認定こども園	13人
障害者(児)施設	4人
福祉施設	1人
計	30人

公務員	1人(1.9%)
保育所	9人(17.0%)
公立保育所	6人(11.3%)
企業	13人(24.5%)
医療・福祉施設	5人(9.4%)
幼稚園	3人(5.7%)
公立認定こども園	3人(5.7%)



就職率	100%
就職希望者	53人
就職者	53人

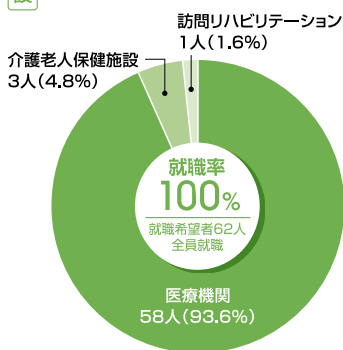
就職率100% = 就職者数53人 ÷ 就職希望者数53人 × 100

医療健康学部

理学療法学科

理学療法士	62人
計	62人

医療機関	58人
介護老人保健施設	3人
訪問リハビリテーション	1人
計	62人



就職率	100%
就職希望者	62人
就職者	62人

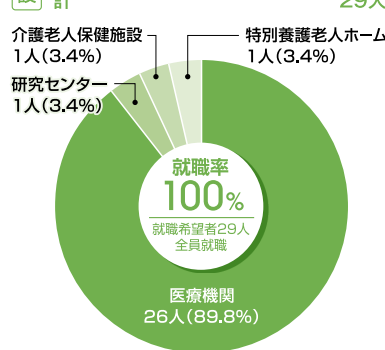
就職率100% = 就職者数62人 ÷ 就職希望者数62人 × 100

医療健康学部

作業療法学科

作業療法士	29人
計	29人

医療機関	26人
研究センター	1人
介護老人保健施設	1人
特別養護老人ホーム	1人
計	29人



就職率	100%
就職希望者	29人
就職者	29人

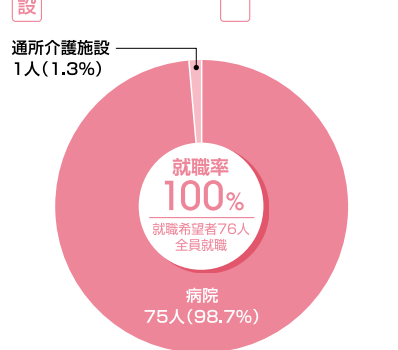
就職率100% = 就職者数29人 ÷ 就職希望者数29人 × 100

看護学部

看護学科

看護師	75人
看護助手	1人
計	76人

病院	75人
通所介護施設	1人
計	76人



就職率	100%
就職希望者	76人
就職者	76人

就職率100% = 就職者数76人 ÷ 就職希望者数76人 × 100

大学行事報告

卒業証書・学位記授与式

平成31年3月18日



平成31年3月18日(月)に卒業証書・学位記授与式及び金城大学大学院学位記授与式が白山市松任文化会館にて挙行されました。社会福祉学部の卒業生142人、医療健康学部の卒業生97人、看護学部の卒業生80人、大学院修了生2人が学び舎を後にし、社会に向けて新たな一歩を踏み出しました。

式では、加藤真一理事長が告辞を、前島伸一郎学長が式辞を述べました。続いて祝辞が披露され、最後に卒業生を代表して吉野枝利奈さんが答辞を述べました。

同日、会場を金沢東急ホテルに移し、卒業パーティーが盛大に行われました。

入学式

平成31年4月1日

4月1日(月)に、入学式が白山市松任文化会館にて挙行され、社会福祉学部117人、医療健康学部88人、看護学部87人、大学院総合リハビリテーション学研究科4人の総計296人が入学し、大学生活の新たなスタートを切りました。



加藤真一理事長が告辞、前島伸一郎学長が「多くの人の人生を豊かにするために、広い見識を持って一生懸命学んでほしい」と式辞を述べ、続いて祝辞が披露されました。最後に、新入生を代表し、看護学部の堀井友萌香さんが「さまざまな困難があると思うが、仲間と力を合わせて乗り越えていく」と抱負を述べました。式には、多くのご来賓、保護者の皆様にご臨席賜りました。

新入生歓迎会

平成31年4月6日

4月6日(土)に日光アリーナ(体育館)で大学・短大合同の新入生歓迎会を開催しました。学友会長の歓迎挨拶の後

に、各クラブ・同好会による活動紹介、ビンゴ大会を行いました。クラブ・同好会の活動紹介では体育館内で各団体のブースを設け、プロジェクトを利用したプレゼンテーション形式の団体や、体験型の団体など様々なクラブ・同好会紹介となりました。今年のビンゴ大会は、新入生同士の親睦をさらに深めるため、「名前ビンゴ」を行いました。ビンゴカードのマスの中欄に新入生の名前を聞いて



記入し、参加者の名前を書いた名前くじを引いて、ビンゴを揃えるものです。参加者はビンゴを通じて楽しくお互いの自己紹介をしていました。クラブ・同好会の先輩や新入生同士で交流できたことで、これからのキャンパスライフの期待が高まる一日になりました。

新入生研修

平成31年4月13日

4月13日(土)に笠間キャンパス及び松任キャンパスにて新入生研修が行われました。午前の部では、充実した学生生活を送るための計画づくりや、白山警察署の方による交通安全や防犯についての講習を行いました。午後の部では3学部に分かれて、マナー講座、先輩との交流会、レクリエーション形式の研修等を行いました。それぞれの学部で行われた講座やレクリエーションを通じて、仲間と協力しながら学んでいく姿勢を互いに感じることができ、充実した一日になったようです。



クラブ・同好会登録及び援助金説明会

平成31年4月25日

4月25日(木)に、全クラブ・同好会の代表者を対象としたクラブ・同好会登録及び援助金説明会を行いました。クラブ・同好会担当職員から今年度のクラブ・同好会登録にあたり必要な手続きや活動援助金の申請、活動報告等の書類作成方法についての説明を行いました。新規クラブ・同好会に登録を考慮する団体も含め、多くの学生が参加しました。

令和元年度 医療健康学部・看護学部 卒業研究発表会

社会福祉学部 令和元年12月〜令和2年2月
医療健康学部 令和元年9月28日
看護学部 令和元年10月5日

9月28日(土)に、医療健康学部にて卒業研究全体発表会、10月5日(土)に看護学部にて卒業研究中間発表会がそれぞれ開催されました。2学部の学生は3年次よりゼミ教員の指導・支援を受けながら取り組んできた卒業研究の成果を発表する会です。



学生たちは、パワーポイントやポスターを用いて、自分の研究成果について自分なりの言葉で説明し、質疑応答では発表では伝えきれなかった内容を相手にわかりやすく伝えるように努力する様子も見られました。教員からの助言や在学生からの質問などがあり、活気に満ちた素晴らしい卒業研究発表会となりました。

卒業研究発表会では、優秀発表者が選出され、卒業式で表彰される予定です。社会福祉学部は、12月から2月にかけて各ゼミで卒業研究発表会を行います。

第44回金城祭

令和元年10月19日・20日



今年度は、「Heart warming」笑顔で広がる想いの輪」をテーマに、第44回金城祭が10月19日(土)・20日(日)に開催されました。「足立佳奈」によるゲストライブ、模擬店、ステージでの各種イベント等の企画が実施されました。両日とも多くの方に足を運んでいただき、大盛況のうち幕を閉じることができました。

トピックス

公開講座

毎年、短期大学部との共同事業として「金城大学・金城大学短期大学部公開講座」を実施しています。5月25日(土)から11月30日(土)にかけて行い、今年度は全20講座開催しました。教育資源だけでなく、外部講師による「住みよいまちづくり」や「健康課題について」の講演をいただきました。また、人氣が高くなってきている「ポールウォーキング」体験講座などを行い、多くの地域の方々が聴講されました。なお、令和2年度も引き続き開催いたしますので、是非ご参加ください。

ゆうがく広場／悠遊健康サークル

今年度も介護福祉コースによる地域の高齢者の方々との交流を通じたアクティビティ活動として「ゆうがく広場」を、また、医療健康学部による白山市と本学が連携した地域在住高齢者を対象としたマシントレーニング、健康体操などを本学学生と交流しながら行う健康維持・改善講座事業として「悠遊健康サークル」がそれぞれ実施されており、地域の方々からもたいへんご好評をいただいています。活動状況等の詳細については、大学ホームページに掲載されていますのでご覧ください。

北國健康生きがい支援事業

北國新聞社との共催事業として「北國健康生きがい支援事業」を実施しています。今年度は、8月



31日(土)に前島伸一郎学長による「長寿社会を生き抜くために！〜今から始める身体と脳の鍛えかた〜」をテーマに開催しました。

第14回保健・医療・福祉創造フォーラム

11月16日(土)に第14回保健・医療・福祉創造フォーラムが本学にて開催され、保健・医療・福祉施設の職員、一般の方、学生などが参加しました。大会テーマを「子どもの育ちと育みのために〜音・夢・いのち〜」とし、公益社団法人「難病の子どもとその家族へ夢を」理事の柴田礼子氏による講演「特別なニーズがある子ども達から学ぶ解釈の多様性」が行われました。



講演後にはシンポジウム「音・夢・いのち」が開かれ、専門家を招き、それぞれの立場における現状や展望などを提示し、専門性の高い情報・意見交換の場となりました。

退任教職員のご案内

事務職員の益田佳奈子さん(教学支援部)が平成30年12月末で、社会福祉学部の永原朗子特任教授、医療健康学部の渡辺豊明講師、看護学部の永山くに子教授、松島昭廣教授、樋貝繁香教授、柳原真知子教授、浅見美千江准教授、大澤千恵子准教授、田淵祥恵講師、蘭直美助教、古市朋子助教、半谷静雄特任教授、事務職員の大野加奈子課長(国際交流センター)、森光代さん(保健管理センター)が平成31年3月末で、退職されました。

同窓会 開催報告

金城大学卒後研修WG

9月14日(土)、金城大学卒後研修WGの活動として、毎年秋に開催している研修会と懇親会を開催しました。

研修会では、恵寿金沢病院リハビリテーション科、畠山智行先生による「大腿骨頸部骨折術後と変形性股関節症保存療法の運動療法」と題し、講義をしていただきました。

また懇親会では、日本海庄やにて、卒業生の上下のつながりを強め、先生方との交流を図ることができました。



同窓生活動報告の募集

同窓生の皆様におかれましては、各方面でご活躍のことと思います。その中で、「同窓会を開催しました」「同じサークルだった仲間と久々に集まりました」など、同窓生の近況報告を募集しています。是非、同窓会会報誌でも活動の模様を掲載させていただきたいと思っておりますので、お気軽に情報をお寄せください。

研究・教育活動報告

研究活動成果報告会開催報告

本学教員を対象に、学内競争的資金として交付される特別研究費・国外研究費に採択された研究活動について、10月19日(土)・20日(日)の期間で実施された活動成果報告会(ポスター発表)の発表者は次の通りです。



- ① **梶井 敬子 助教** (看護学部)
 - ・「働く女性が母乳育児を続けていく中で抱く思い」
 - ② **神谷 晃央 准教授** (医療健康学部)
 - ・「高さを変えた両脚着地動作時の体幹・下肢の関節角度とモーメントの男女別の標準値」
 - ③ **木林 勉 教授** (医療健康学部)
 - ・「女性看護・介護職員に対する腰痛予防対策の効果」
 - ④ **小島 聖 准教授** (医療健康学部)
 - ・「マウス変形性膝関節症モデルにおける自発運動量と組織学的変化の関係」
 - ⑤ **佐々木 賢太郎 教授** (医療健康学部)
 - ・「認知課題の付加が地域在住高齢者の静的・動的バランス能力に与える影響」
 - ⑥ **澤 俊二 教授** (医療健康学部)
 - ・「The relationship of paralysis hand practicality and disability acceptance after the onset of stroke」
 - ⑦ **野口 雅弘 准教授** (医療健康学部)
 - ・「仰臥位エルゴメータの駆動角度の違いによる呼吸循環動態および下肢筋活動への影響」
 - ⑧ **福永 肇 教授** (社会福祉学部)
 - ・「～『病院完結型医療』から『地域完結型医療』への変換～2025年を目標とする日本の医療・介護提供体制構築の研究」
 - ⑨ **福永 肇 教授** (社会福祉学部)
 - ・「台湾にて①学会発表②国立臺灣大学との研究打合せ、③台湾の病院研究調査」
 - ⑩ **本間 文子 助手** (医療健康学部)
 - ・「股関節回線及び膝関節屈伸可動域計測装置の開発—妥当性と信頼性の検証—」
 - ⑪ **前島 伸一郎 教授[学長]** (看護学部)
 - ・「Factors necessary for independent walking in patients with putaminal hemorrhage」
 - ⑫ **森 啓至 教授** (看護学部)
 - ・「関節拘縮由来軟骨変性に対する寒冷刺激の効果」
- (五十音順)

科学研究費助成事業採択状況

文部科学省及び独立行政法人日本学術振興会による科学研究費助成事業は、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、豊かな社会発展の基盤となる独創的・先駆的な研究に対する競争的研究費(助成制度)です。今年度の採択・交付者は次の通りです。

【金城大学】

- ① **岩城 直子 教授** (看護学部)【研究代表者】
 - ・「放射線療法中の乳がん患者へのPILテストを手がかりとした看護介入の活用可能性」
 - ② **川邊 弘之 教授** (社会福祉学部)【研究代表者】
 - ・「劣化した点字図書の復元システムの構築」
 - ③ **小島 聖 准教授** (医療健康学部)【研究代表者】
 - ・「幼児における足の発育に特化した足と靴の健康教育プログラムの開発」
 - ④ **佐々木 賢太郎 教授** (医療健康学部)【研究代表者】
 - ・「non-MTC gait Cycle の出現頻度からみた転倒予測」
 - ⑤ **佐藤 香緒里 准教授** (医療健康学部)【研究代表者】
 - ・「高齢者の転倒防止プログラム—歩き動作時の障害物と距離・位置関係に着目して」
 - ⑥ **下村 有子 教授** (社会福祉学部)【研究代表者】
 - ・「全盲学生のボランティアを支援する授業資料等の点字への翻訳システムの提案」
 - ⑦ **田中 克恵 教授** (看護学部)【研究代表者】
 - ・「特別養護老人ホームの終末期ケアにおける多職種チームケアプロセスモデルの開発」
 - ⑧ **中 磯子 教授** (社会福祉学部)【研究代表者】
 - ・「歌唱を取り入れた二重課題の心理的負荷と認知機能におよぼす影響」
 - ⑨ **永井 将太 教授** (医療健康学部)【研究代表者】
 - ・「理学・作業療法士の臨床実習における学生支援のためのeポートフォリオの開発と検証」
 - ⑩ **二本柳 玲子 准教授** (看護学部)【研究代表者】
 - ・「女性血液透析患者の積雪期の活動量が透析関連要因とWell-Beingに及ぼす影響」
 - ⑪ **彦 聖美 教授** (看護学部)【研究代表者】
 - ・「高齢期の妻や親を介護する男性介護者世帯に対する災害時の健康管理と共助に関する研究」
- (五十音順)

【金城大学短期大学部】

- ① **新井 浩 准教授** (美術学科)【研究代表者】
 - ・「環境音の可視化による聴覚障害者支援—マンガ表現を用いた臨場感フォントによる支援—」

卒業後の証明書交付について

卒業後に発行可能な証明書

卒業後、本学にて発行可能な証明書は下記の通りです。

名称	手数料/1部	備考
卒業証明書	100円	
学業成績証明書	200円	
社会福祉主事任用資格単位修得証明書	200円	
卒業証明書・社会福祉士指定科目履修証明書(*1)	200円	社会福祉士の国家試験受験専用
教員免許申請用学力に関する証明書	200円	申請免許種ごとに必要(申請時に免許種類を明記のこと)

*単位修得証明書は任用資格取得に必要な科目の単位を修得したことを証明するものです。

*左記以外のものは申し込み前に、教学支援部までお問い合わせください。

(*1) 社会福祉士の国家試験を受験しなかった方が、国家試験を受験する場合に必要。一度受験した方は受験票のコピーなどで再受験が可能ですので受験時にこの証明書は必要ありません。

申し込みについて

原則として、申し込みは郵送または窓口のみの取扱いとなります。

a) 郵送の場合

下記のものを大学事務局<申し込み先>宛に送付してください。

- 1 証明書手数料分の切手。
- 2 送付先郵便番号・住所・宛名を明記した返信用定形外封筒(角形2号)。
*定形外郵便料金+簡易書留分320円、郵送料分切手を貼付け済み。
速達希望ならば+290円。
- 3 右記<記入必要事項>を記載した便箋等。

b) 窓口の場合

窓口で証明書の申請、または、受取る場合は名前と生年月日が分かる身分証明書(運転免許証・健康保険証等)を持参の上、所定の申請用紙に必要事項を記入の上、代金をあわせてお支払いください。身分証明書を提示できない方からの申請は受け付けることが出来ません。

<記入必要事項>

- 1.氏名・生年月日
- 2.入学及び卒業の年月
- 3.学籍番号(わかれば記載願います。)
- 4.請求証明書名と必要部数
- 5.提出先(必要部数毎に明記してください。)
- 6.必要理由(理由によって様式が異なる場合があります。)
- 7.連絡先(昼間連絡可能な電話番号。)

<申し込み先>

〒924-8511 石川県白山市笠間町1200
金城大学 教学支援部 Tel: 076-225-3449(直通)

*a) 記載事項に不備のあるものについては、受け付けることが出来ませんので、ご了承ください。

受取りについて

受け取りは郵送または窓口のみの取扱いとなります。

a) 郵送の場合

郵便での申込の際は必ず、返信用封筒に定形外封筒を使用し、右記のとおり定形外郵便料金と簡易書留分(320円分)の切手を返信用封筒に貼付してください。

例:証明書3通までの場合、返信用封筒には定形外郵便料金120円と簡易書留料金320円分の切手、合計440円分の切手を貼ってください。

原則として、繁忙期及び特殊なものを除き、到着後3日以内(日・祝日を除く)に発送します。

また、お急ぎの場合は往復とも速達(+290円)にしてください。

b) 窓口の場合

直接取りに来られる場合には、発行を確認の上、来学してください。なお、その場合は身分証明書(運転免許証・健康保険証等)を必ず持参してください。代理受領の場合も本人が事前連絡の上、代理人が身分を証明できるものを持参してください。

<返信用定形外封筒の郵送料金(参考)>

申込数	簡易書留 (定形外郵便料金+320円)	速達郵便 (+290円)
証明書3通まで	440円	730円
証明書5通まで	460円	750円
証明書7通まで	530円	820円

*上記料金は2019.10.1以降のものです。

*郵便料金についてはあくまで目安の料金です。

不足が生じた場合は、後日請求させていただきます。

注意事項

- 原則作成までに3日(日・祝日を除く)かかりますので、できるだけ余裕を持ってお申し込みください。
- 原則到着後3日(日・祝日を除く)で発送します。お急ぎの場合は、申し込み・返信用と速達分の切手を貼ってお送りください。
- 電話やFAX、電子メールでの申し込みや研究室等への依頼は受け付けません。
- 進学用の調査書については、別途お問い合わせください。
- 大学院受験用調査書や英文証明書等特別に作成を要するものは、2週間以上の余裕をもって申し込んでください。
- 英文証明書を請求する場合は、氏名のローマ字綴り(「日本国旅券」等公的証明書に登録したもの)を必ず書き添えてください。
- 証明書は在学当時の姓名で作成しますので、改姓された方は必要に応じて、戸籍抄本や市区町村の証明書等を先方へ併せて提出してください。

卒業生の施設利用



図書館

卒業生も図書館所蔵資料の閲覧・複写・貸出ができます。(貸出期間の延長はできません)

《貸出冊数》3冊 《貸出期間》2週間(雑誌は除く)

※必ず事前に図書館(直通:076-276-4412)までご連絡ください。その際、卒業年度・学籍番号・学科・名前をお知らせください。

※利用の際は現住所等を確認できるもの(免許証など)を持参し、カウンターに申し出てください。

※利用日・時間についての詳細はホームページをご確認ください。

小講義室・演習室等

卒業生が勉強会(自主ゼミ・研究会)を実施できる環境(場所)整備として、平日夜、土曜日などに小講義室・演習室等を使用することができます。なお、実際の使用に係る手続き等の詳細については、同窓会ホームページをご参照ください。

同窓会会員の皆様へ

この度、同窓会会報誌第13号を発刊いたしました。ご一読いただければ幸いです。

同窓会事務局では、同窓会員の名簿の整備を行っています。行事のお知らせ、会報誌の送付など、同窓会運営に役立てています。

住所等が変更になった方は、同窓会事務局(※下記参照)までご連絡くださいますようお願いいたします。

ご連絡いただいた個人情報につきましては、同窓会の運営および同窓生への支援以外の目的では使用いたしません。ただ、交流パーティーへの参加を呼びかけていただくため、役員に同期の方の連絡先をお伝えすることがありますので、ご了承ください。

今後とも、同窓会の活動にますますのご理解とご協力の程、よろしくお願いたします。

大学案内・入学試験に関するお問い合わせ

《入試広報部》

フリーダイヤル	0120-276-150
TEL	076-276-5175(直通)
FAX	076-275-4316
E-mail	nyushi@kinjo.ac.jp

金城大学同窓会 会報誌 第13号 令和元年12月20日発行 編集兼発行: 金城大学同窓会 事務局

〒924-8511 石川県白山市笠間町1200 TEL: 076-276-4400 FAX 076-275-4316 <URL> <http://www.kinjo.ac.jp/ku/> <E-mail> u-dosokai@kinjo.ac.jp